



性犯罪・性暴力被害者等の支援

- ▶ 性暴力被害は潜在化しやすいため、相談しやすい体制を構築するとともに、被害者の「からだ」と「心」のケアができるよう支援体制の充実を図られたい。

【提案要望先】 内閣府

1. 提案・要望内容

(1) 「性犯罪・性暴力被害者支援のための交付金」の継続と必要額の確保

- “性暴力被害者のためのワンストップ支援センター”の継続的かつ安定的な運営のため、財政支援制度の継続および必要額の確保
- 交付金対象経費の拡充および医療費公費負担に関する補助率の引き上げ

(2) 被害者を支援につなげるための国の主体的な周知の実施

- 相談をためらう性暴力被害者を支援につなげるため、支援者に直接届く検索連動型広告やSNS等を活用した全国共通番号「#8891」やSNS相談事業の効果的な周知の実施

2. 提案・要望の理由

(1) 「性犯罪・性暴力被害者支援のための交付金」の継続と必要額の確保

- 「性暴力被害者総合ケアワンストップびわ湖」(通称 SATOCO^{サトコ})は、医療機関、民間支援団体、警察が連携して24時間ホットライン体制で被害者を支援する取組
- 相談対応を行う専門研修を受けた看護師^{セイ}(SANE)や相談員の体制の充実が必要であることから、交付金の継続および必要額の確保が必要
- 相談センターと兼務する支援員が交付金対象外
- 交付金の補助率 医療費公費負担 1/3、運営等 1/2

(2) 性暴力被害者を支援につなげるための国の主体的な周知の実施

- 全国共通番号「#8891」、SNS相談が開始し、広く国民に周知する必要がある
- 性暴力被害者を支援につなげるためには、まず相談につなげる必要がある
- 性暴力の被害者は顔見知りからの被害が多く相談をためらう人が多いため、検索連動型広告などを活用して、悩んでいる被害者に直接届ける周知が必要

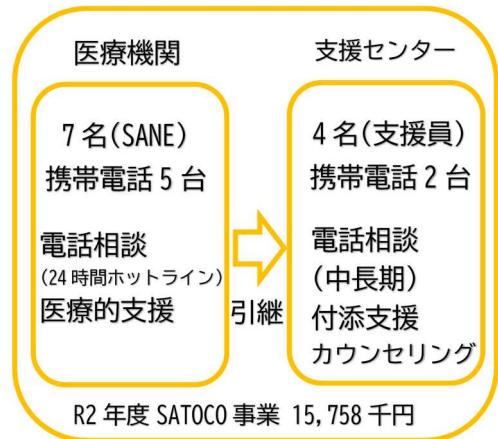
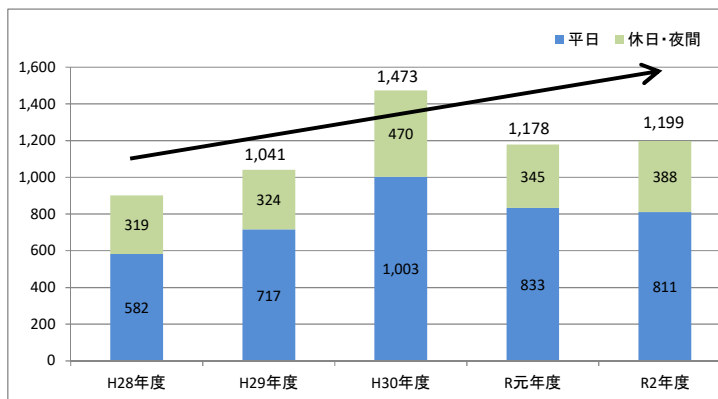
(本県の取組状況と課題)

(1) 性暴力被害者総合ケアワンストップびわ湖 SATOCO (サトコ) (平成 26 年 4 月～)

- 滋賀県産科婦人科医会・公益社団法人おうみ犯罪被害者支援センター・滋賀県警察・滋賀県の4者連携による性暴力被害者のためのワンストップ支援の取組
- 365日24時間ホットライン
病院で女性の専門看護師(セイン)が対応



(現状) SATOCO 相談支援実績



- (課題) ・ 心のケアなど回復期における相談は長い期間を要し、相談センターへの支援の引き継ぎが必要
- ・ 相談や付添支援が増加し、支援体制充実が必要
 - ・ 県外の被害者を医療費の支給対象とすることによる負担の増加

(2) 被害者を支援につなげるための国の主体的な周知の実施

- (課題) ・ 全国共通番号「#8891」、SNS 相談が開始し、広く周知する必要がある
- ・ 性暴力の被害者は、顔見知りからの被害が多く相談をためらう人が多いため、直接被害者に届く効果的な周知が必要